

(仮)生物多様性藤沢戦略の考え方

**生物多様性国家戦略 2012-2020**

- 次なる 100 年に向けて : 愛知目標達成に向けたロードマップ及び 100 年先を見据えた国土のグランドデザイン
- 今なすべきこと : 5つの基本戦略
- 力を合わせて : 多様な主体の連携【地方公共団体, 事業者, 市民団体, 学術団体・研究者, ひとりひとりの取組】

➤ 愛知目標の達成 5つの戦略目標<20の個別目標<48の主要行動目標  
**生物多様性・自然の恵みを守り・向上させ、賢明に利用し、公正に利益を分かち合うための行動**  
 例) 戦略目標A「根本的要因への取組」-個別目標「普及啓発」-主要行動目標「生物多様性の広報・教育・普及啓発等を充実・強化

**生物多様性藤沢戦略 ～生きものを軸としたまちづくり計画～**  
**地球規模で考え藤沢で行動するための計画**

生物多様性に支えられる自然共生社会の実現 (自然の恵み (生態系サービス)・生物資源の保全・適正利用・活用, 地域文化の継承, 暮らしの安全性の確保・・・)

**藤沢市自然環境実態調査 (H23～H25)**

前回調査 (約 10 年前) に比べ市内全域で「生物多様性への 4 つの影響」の拡大が判明

|                                      |   |   |                                     |
|--------------------------------------|---|---|-------------------------------------|
| <b>第 1 の影響 (危機)</b><br>開発など人間活動による影響 | <b>第 2 の影響 (危機)</b><br>自然に対する働きかけの縮小による影響 | <b>第 3 の影響 (危機)</b><br>人間により持ち込まれたものによる影響 | <b>第 4 の影響 (危機)</b><br>地球環境の変化による影響 |
|--------------------------------------|---|---|-------------------------------------|

・藤沢市緑の基本計画  
 ・藤沢市都市マスタープラン  
 等により影響回避

・藤沢市地球温暖化対策実行計画  
 等により影響回避  
※本計画は従来の「緩和策」が中心であり「適応策」については「藤沢市環境基本計画」において「進めていく必要がある」として今後具現化

**第 0 の影響?**  
生物多様性に対する  
認識不足

|           |  |                       |                             |  |
|-----------|--|-----------------------|-----------------------------|--|
| 現状・課題     | ・樹林地における遷移の進行<br>・湿地における遷移の進行<br>・竹林の放置・拡大<br>・耕作地の管理法の変化による影響 | ・外来種の侵入・逸出とその増加       | キーワード<br>啓発・協働・経済・子ども、外来種対策 | ・藤沢市は都市住民 (消費者) であり、今後、生物多様性の認識不足は、持続可能な社会を招くおそれがある。人ごとにしなない取組が必要                            |
| 市の特性      | ・地勢 ・気象 ・市民活動 ・歴史<br>・バランスのとれた都市開発 etc                         |                       |                             |  |
| 将来像 (例えば) | ・市民一人ひとりの普段の生活 (活動) に生物多様性の意識づけと実践 etc                         |                       |                             |  |
| 施策の方向性    | ・農地再生 etc<br>・水面等多様な環境の再生                                      | 駆除は容易でない<br>→侵入・逸出を防ぐ | 戦略                          | ・周知、啓発 (危機感の醸成)<br>・暮らしの中での取組例の提示<br>・自然の恵み (生態系サービス) を感じられる場・機会の提供<br>・担い手の育成<br>・行政等の支援 …… |
| 具体的施策     | 市民協働を基本<br>これまでの市民活動に生物多様性の観点をプラス                              | 普及啓発活動<br>教育現場を基本     | 戦術                          | ・地域社会の全体的な参画<br>ひとりひとりの主体的な取組  |

